

大阪音大学長の本山秀毅先生が、Faceook に投稿したものです。本山氏は、数多くの合唱団を指揮するとともに、京都バツハ合唱団を主宰されている人です。我々の考えの参考になるかも転載しました。

次に来る問題

緊急事態宣言の解除を受けて、世の中は以前の姿を取り戻そうと動き始めているように見える。しかしこの感染症の与えた影響はすべての事柄を元通りに戻せるとは限らないほど大きなものであり、たとえその方向を見出せたとしても想定外に時間がかかる予感がある。

それは、実際に顕在化する影響よりも、人々の心理に与えたものの大きさに由来するのかもしれない。その「心理」に抗うことができるものは一体何なのか？

6月から公民館などの施設が使用可能になる地域がある。それに先立って以前と同じように練習のための使用を申し込んだところ、合唱練習については許可出来ないという通告を受けたという事例が各地で報告されている。兵庫県芦屋市の例を合唱指揮者の西牧潤氏が詳細にレポートされているフェイスブックの記事も参照されたい。

たとえ僅かでも生命に関わるような判断を迫られた時に、後にその判断基準と方策についての説明責任を伴うことは必須である。そしてその判断基準については、憶測や思い込みなどによるものではなく、科学的な知見に基づくものでなければならない。

先日来、ドイツのオーケストラや合唱団がエアロゾルの飛沫の拡散について綿密な実証実験をしている様子がドイツ在住の方から発信され、大きな反響をもって受け止められていることをご存じの方も多いただろう。彼らの実証は、職業音楽家としての「職場」を守るために必要不可欠なものなのである。ここにドイツという国における音楽の存在感が示される。そしてその精密なデータこそが、今後の彼らの活動の動向や、ひいては生活を左右することに直結することは言うまでもない。それだけ「音楽」が人々の生活に結び付いている～ここでは果実を享受することではなく、生活の糧としての音楽である～ことを明確に示している。

もちろん、我が国においても同じ立場にいる人は少なくない。自分たちの環境を守るためには一体何が必要なのかについての情報を、先の見えないコロナ禍の中で渴望していた状況ゆえにこれらの情報に大きな関心が集まるのだ。

それらの知見は大いに参考にすべきだろう。しかし、その情報をただ単に受け入れるだけではなく、われわれの周囲でも然るべき機関によってこの種の実証が行われるべきではないだろうか。先日、愛知県立芸大音楽学部の先生方が、実際に授業で使用する教室において、空気の対流を調べる実証実験が行われている様子がアップされていた。授業を始めるにあたって学生の安全を守るために実証的に行動される姿勢に深く感銘を受けた。

多くの合唱人が数か月の禁足期間を経て元通りの環境を望んでいることは容易に拝察で

きる。またその一方で、伝えられる幾つかの合唱団を通してのカタストロフが、容易に払拭できない先入観を与えていることは紛れもない事実である。

もし私が公民館の責任者であれば、おそらく慎重な対応にならざるを得ないだろう。それは自分自身に正確な知見が不足していることに由来するものであり、責任を果たすということ意味において、先に述べた説明責任を伴う判断基準と方策が必要であるからだ。これは行政の責任者だけではなく、合唱団を統率される方にも共通する重い判断を伴う課題である。

しかし同時に、この状態がいつまでも続くようであれば、共に歌うことに今より良い状態は望むべくもない。私は、身近に合唱の分野において、ドイツのような実証実験を行うことが必要ではないかと考えている。それは、再開を何が何でも望むという偏った立場からではなく、先入観の全くない純粹に科学的な見地から、合理的な一つの基準が示されるために行われることが必要である。なぜならそこには他でもない人間の生命に関わる決断が含まれているからである。

実際の調査は、ある程度オーソライズされた機関に委嘱する必要があるだろう。また多くの人たちがその結果を共有することが望ましい。そしてその情報が合唱愛好家だけではなく、それを支える周囲の人たち、たとえば公民館の責任者のような立場の人にまで伝わる必要があるのではないだろうか。

それでは一体、どこの誰がこのような案件を担うのか。たとえば、全国的に合唱団活動を束ねる大きな組織が、合唱団の活動について、以前のような合唱活動再開へ道筋をつける意味と、合唱人の「前のめり」の姿勢に警告し生命の危険から守るための両面から、今こそ動いてもよいのではないかと考えるのだが、いかがなものだろうか。

山本宏司 KOJI YAMAMOTO

kojisettembre@gmail.com <kojisettembre@gmail.com>

(+81) 090-9044-6247